

AI実習課題レポート 2025A

[第1回～第3回]

- 課題期間： 2025/4/10,17,24(木)
- 課題提出期限： 2025/5/8(木) 9:00

クラス	学籍番号	氏 名
A	20123021	近田暖人

以下の部分を、提出用フォーマットとして活用すること

第1回グループ課題の要約・整理

回数	グループ名	発表者	発表内容	
1	ルビーレッド	高橋 昂成	RDFは主語述語目的語の3つの要素からなり、機会が理解しやすいことに対して、LLMは文章や単語の出現確率を用いてモデル化したもので、人が理解しやすいこと。効能の差としては、RDFはセマンティックウェブ、オープンデータの公開や医療分野でのデータ統合など、多様な分野である。LLMはカスタマーサポートや文章の作成などで利用できる。RDFとLLMを組み合わせることで、ナレッジグラフでゲーム攻略をチャットbot化することを考えた。	
1	サファイアブルー	富樫 大和、 五味 帆翔	1と4の内容について発表。誰がどうした、何をしたという構造で意味を表現できる。例<太郎><飼っている><猫>主語述語目的語を合わせて、～の～は～である関係性を記述する。質疑応答システムを考え、LLMでユーザーの質問を理解し、RDFから必要な情報を取得するものであった。LLMだけでは曖昧で間違いを해서는いけないから、アレルギーをRDFで入力してアレルギーでない献立を聞くというシステムを考えていた。	RDFによる意味表 アレルギーに配慮
1	エメラルドグリーン	小林 遼汰	RDFとLLMの知識表現の違いと効能の差について。RDFの表現は機会が理解しやすく、LLMは人間が理解しやすい。効能の差として、RDFは正確さがあり、作った本人に左右されることに対して、LLMは柔軟性があり、人間の対応があり豊かで協力しやすいという発表内容だった。	RDFとLLMの知識
1	アメジストパープル	長尾 優真	RDFと組み合わせた用途について。RDFはデータの関係性を表現でき、活用例としてマネーロンダリングやリアルタイム不正検知。LLMでは特定の言葉に続く確率が高い言葉を出すことで、例としてchatGPTが挙げられた。地震予知システムを考え、過去の地震をRDFでつくり、自身が起こる確率をLLMで開発をするというものであった。学校のカスタマーサポートをメールだけにする意見もあった。今のLLMでは嬉しい言葉が返ってこないこともあること。	過去にあった地震
1	トパーズイエロー	古賀 真之介	RDFはデータベース的であり、正確性がある。LLMは曖昧な質問や雑な指示にも自然に答えてくれる。事例や用途として、RDFで提案した知識ベースを元にLLMが自然な回答を生成し、RDFから取り出した情報を元にLLMが会話的に返答するもの。LLMからRDFが方向性を逆にする意見があった。	どこでLLMが情報 どこでRDFの制約

第2回グループ課題の要約・整理

回数	グループ名	発表者	発表内容
2	ルビーレッド	高橋 昂成	なぜ避難所データに知識が必要か、要件として何が考えられるかを考えた。前提条件として地震が発生、津波やGPSの活用で最短距離での避難をする。求められる要件として、避難所の収容人数、医者や看護師の在中の有無、トイレの状況などを要件として考えた。チャットボットを利用して避難者からの問い合わせに回答、情報の集約例として動物園から動物が脱走した時に、LLMで拾った内容を集約し実際の状況の場所に一旦渡し、状況を確認
2	サファイアブルー	富樫 大和	RDF表現は何に役立つかを考えていた。機会接続可能なためスマホのアプリなどと連携しやすいことや、複雑な状況にあった避難場所を見つけやすいなどの意見があった。公共施設の閉鎖申請などを受けてから即座に情報提供の不確実性を表現する長い間データが更新されていない場合に古い情報であるということを記述しておく仕組み、一ヶ月に一度のアップデートが必要という内容だった。
2	エメラルドグリーン	小林 遼汰	RDFは何に役立つかを考えていた。LLMより正確で避難所データや避難所の住所、災害時に共有する時などの利便性、困ることとして外部の機関とデータと連携がしにくいこと、アプリサービスが開発しにくい、情報がバラバラリアルタイムの状況把握や分析ができない、データソースの連携ができないなどの意見が出ていた。
2	アメジストパープル	長尾 優真	RDF表現は何に役立つかで、避難所のデータがあれば自分がいる一から一番近い避難所を教えることができる。バリアフリーや車椅子に対応したトイレがあるかなどの情報を追加することで高齢者向けのデータにもできる。対象者は旅行する人がその土地について詳しくない人で、用途は近くの避難所を確認することで避難所の場所だけ示してもその場所の建物の特徴などその土地に住んでい
2	トパーズイエロー	古賀 真之介	なぜ必要かについて発表していて、要件は地震情報や収容情報、頻度やバリアフリーやペットの有無などが挙げられ、さまざまなサービスやアプリに簡単に利用できる他のRDFと組み合わせることができ、役立つと考えであった。備品の状況の数をRDFで表して更新しながら対応をする意見があった。

第3回グループ課題の要約・整理

回数	グループ名	発表者	発表内容	発表への質疑・コメント
3	ルビーレッド			
3	サファイアブルー			
3	エメラルドグリーン			
3	アメジストパープル			
3	トパーズイエロー			

[自己成長、成果、上位成績に向けて] 個人成果の報告

注意事項

- ・ 直近3回分の個人演習と毎回のグループ課題の実施結果について、
- ・ 学生ごとの個人のレポートとする
- ・ 他の学生のレポートをコピー＆ペーストしたことが発覚した場合、不正行為とみなし、規程に基づく懲罰適用の可能性があるので絶対にやってはいけません

参考文献、URL